



自動運転バス（画像はいずれも報道発表資料から）

## 大館市で自動運転バスの実証参画 サービス解説やパネル展示も

オリエンタルコンサルタンツは、秋田県大館市で11月16～18日に行われた自動運転バスの実証実験に参画した。同市が事務局となっている「大館版自動運転移動サービス推進協議会」の委員として、自動運転サービスの解説のほか、公共交通やAIオンデマンド交通の利用を促すパネル展示

### オリコンサル

を行った。実証実験は、同市市街地にあるJR大館駅や商業施設「いとく大館ショッピングセンター」、大館市立総合病院を通り大館駅に戻る約5・5キロのルートで実施した。車両は「Minibus」を使用。定員は12人で、自動運転走行時最高速度は1時間当たり35

キロ。1日当たり5～6便を運行し、市民ら237人が参加した。実証実験は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」、「自動運転実証調査事業と連携した路車協調システム実証実験」の採択を受けて行った。



オリコンサルによるパネル展示